

2023.4.22

とと道トレイル小田＝美星ルート現状報告

By HK

とと道ウォークはこれまで雑草を避けて、冬枯れの時期に実施されてきました。このため、とと道の景色はどうしても寒々しいものでした。しかし、森や高原の中を辿るこのトレイルの真髄は緑あふれる季節と思われます。2016年以來のコースの草刈りが功を奏して最近では圧倒的な藪が繁茂していた場所でもやや雑草の勢いが弱くなってきた様に感じられます。そこで、新緑の時期に限ってトレイルの状態を観察し、現状を適宜報告することにしました。その第1号がこの小田＝美星ルートです。看板が無くなったり、説明内容変更が必要だと思われるものもあり、報告で簡単にふれました。トレイル近傍にお住まいの皆様も気になる情報が有ればお知らせください。



①調査ウォークは井原線小田駅から開始です



②駅から南に向かい小田川土手を少し上流へ。川の中の石組がかつての「とびそ」を思わせます。



③三海歯科の西側の細道から小田市街へ。かつての砂利道はしっかり舗装されていました



④細道を抜け旧山陽道右手の美容院の反対側、左の細道へ



⑥井原線高架の下を更に北へ



⑤住宅と高架道路、井原線高架軌道に挟まれた市街を北へ。



⑦高架をくぐるとすぐ左に武荅神社の参道が現れます



⑧住宅街を出ると田んぼが広がり、その角に「なり八道」と刻字がある江戸期の道標が頭を出しています



⑨江戸期の道標の向い側に平成の道標がありますが色があせています。



⑩道標から右に向かい道がカーブする地点で左の溝沿いの細道へ。この溝が江戸期以来の溝だといい、溝の石組みは少なくとも160年以上前のものとか。



最近提案されたとと道新ロゴ



⑪溝の先で県道48号線に出て、左へ。本来とと道は1本目の角で左に曲がりますが、ちょっと寄り道して左手の住宅の隣の空き地にポツンと立つ「小田郡宮址」の石碑を拝見、その先の「中小田、中」と書かれた大きな看板の所で左折します。奈良時代、小田郡衙の家並みが広がっていたであろうゆるやかな傾斜を登ると中小田の公会堂。そこを右に折れると中継所跡です。



⑫中継所跡を右に進むとT字路。その脇に有った看板が手前に移され、上に修正の紙が張られています。しかし、字が消えかかっているためよく読めません。



⑬T字路の向いでは宅地造成が進んでいます。いずれ住宅が建つのか？その上の山裾の細道＝正徹の道を辿ります。良い眺めです。山裾の向こう側に小田小学校に向けて下る道があり、岩見堂前に出ます。





⑭正徹の道は実はさらに山裾を続いています、その下り口がはっきりしない上に岩見堂が見られないことからこれは断念か？。



⑮407号線沿いに進むと昨年できた新築の住宅が現れます。その北側に踏み跡があり、これがとと道だとの情報があり、新版ガイドブックでは林田川沿いに出てあぜ道を北上するコースを特定しました。しかし、そこまで行く踏み跡が分りづらい。夏になれば草も増える。どうもこれは407号線をそのまま進み、日置谷へ右折する従来のコースに戻す方が良からうと思われま



⑯従来コースに出ると馴染みの亀石が現れ、さらに進めば左手奥に移築された地蔵堂も見えます。日置谷の公会堂から先は昨年新しくできた田んぼの中の立派な舗装道路です。山が迫り、背後には小田の田園地帯の眺めが広がります。



⑰日置谷から吉備高原の登りが始まります。公開ウォークの折はいつも冬景色ですが、今回は正に「目に青葉」。宇内に下る道標が隠れ気味です。



⑱羽賀峠から宇内に下る細道はかつて進駐軍のジープが通るのを見た人がいるとか。山に囲まれた田園風景が絶品です。



⑲宇内の中心山県屋の十字路からいよいよ山へと向かいます。斜面に広がる村の中の曲がりくねった道は正に里山の道。若宮様、今石の四つ堂と続き、新緑がまばゆいほどです。



②0今石の御堂の脇の細道を登り車道にぶつかるとと道遺構は反対の山の斜面の中へと入ります。毎年恒例の秋の草刈りの最初の場です。この時期、シャジツポがすらりと伸びているだけで草はほんの少し。一帯が緑のトンネルになりいい気持です。



21/41番霊場はまだ道から見えています。43番霊場への草刈場もまだ道標まで見えます。冬よりはやはりこの時期がいいですね。

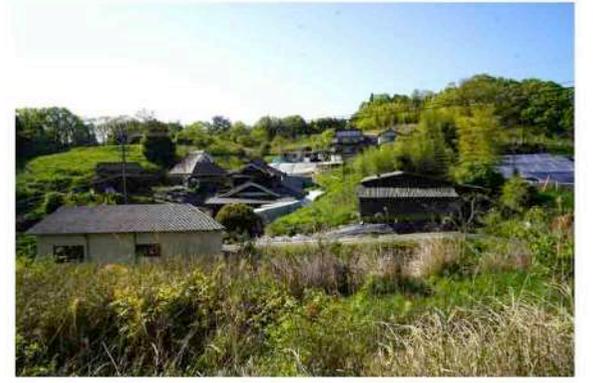


22/角坂池の土手もその上の急坂も道が見えます。最後の登り坂は日当たりが良くさすがに草が伸びています。幻の県道への車道は拡幅工事が終り車が通れるようになりました。

曲がり角に有った道標がなくなっていました。



23/幻の県道は標高が高いせいもあるのか冬と同じ状態。森の新緑が際立ちます。



24/毛野の二股道標もおだやかな姿を見せています。美星の高原の春です。

25/「吉備高原」という特異な名称の地形の典型的な眺めが毛野から布東にかけての高原に広がっています。高みでありながらゆるやかな起伏が続き、空が広い。五万原の畑の上では美星天文台のドームがキラキラと輝いています。





26

26/さっぱりとした味のソフトクリームが自慢の徳山牧場では牛がのんびりと寝そべっています。
27/四方位道標の回りにはワラビがによきによきと芽を出し、北の布東仲継所跡では大きな鯉のぼりが泳いでいます。
28/布東公会堂への道沿いの畑は冬から開放されて春の植え付けまでの束の間の時間を楽しんでいる様です。

29/小田駅から電動ママチャリと徒歩で布東公会堂まで約2時間。とと道の手軽な楽しみ方をトライし大満足。下りは矢掛の江良まで猛スピードでわずか20分でした！



27



28



29